

SDGs 時代の教育

—教育・学習における変革・変容(transformation)にどう向き合うか—



【趣旨】

ITの導入によって業務の効率化を図るIT化ではなく、デジタルによって既存のビジネスモデルそのものの変革を目指すDX(Digital Transformation)に示されているように、変革・変容(Transformation)が現代社会のキーコンセプトになりつつある。2015年に国連総会で制定され2030年までに達成すべきゴールとされているSDGsにおいても、その実現のためには既存の社会や価値観の変革・変容(Transformation)が不可欠であるとされている。SDG4「質の高い教育をみんなに」の下位目標とされるターゲットSDG4.7においては、グローバル・シチズンシップ教育など持続可能な社会を創る個々人の価値観形成や行動レベルでの「深い変容」が求められている。だが未だ十分な成果をもたらしたとは言えない。学ぶ目標を就職においていた既存の学校教育モデルから生涯にわたり学び続け、時に学び直しを保障する生涯学習・リカレント教育などの、新しい学びの「変革」とは何か、人々が幸福に暮らすうえでその土台であった地球環境が危機的状況に直面する中で、これからの生きる未来の子どもたちには、いかなる教育・学習が必要なのか、議論してみたい。

【基調講演】

トーマス・フル Thomas Fuhr(フライブルク教育大学)

社会と個人のトランスフォーメーション

:子ども・若者・成人期における変容的学習の理論

【パネルディスカッション】

小林 亮(玉川大学)

「正義の対立」とそれを乗り越えるメタ認知の地平探究

—ユネスコの地球市民性育成課題(GCED)の文脈で—

神野 幸隆(香川大学)

持続可能な社会を創る政治的主体者の育成を目指す社会科授業

【日時】2022年12月3日(土)

13:30 ~ 16:30

【場所】香川大学幸町北キャンパス
415教室

*対面参加は事前申し込み不要です。
参加費無料。

ハイブリッド開催です。オンライン参加希望の方は、以下よりお申込みください。
自動返信メールに参加方法が記載されています。(締切12/3、13:30)



<https://forms.office.com/r/89KkdqGXXV>